



月根尾

10月

251号

【「月根尾」とは、学校のある地域の古名「突根尾原」に由来する地名です】

2年生

生命地域学

中山間地域体験学習

9/13-14



鳥根大学の作野広和教授の講義を受け、中山間地域について学んだ後、森林セラピー体験と、その他7つの活動から興味のある1つを選び、2つの体験をしました。今年は、「伐倒体験」「VR体験」を新しく加え、中山間地域を支える林業についても理解を深めました。

体験後は、班ごとに体験内容や課題などをポスター1枚に集約し、7班同時にポスター発表を行いました。1人1回は自班の活動の発表者となることで、何を伝えたいかを意識しながら聞き手に分かりやすく話そうとする姿が見られました。昨年度までの全員が1つの発表を聞くスライド形式のものと違い、発表者との距離が近く、聞き手は質問しやすいようでした。発表や質問を通して、中山間地域の自然や産業について共有することができました。

生徒からは、「地域の課題にしっかりと向き合うことができた。そしてその地域を支える仕事を体験し、その大事さを知ることができた。これからは地域に目を向けて生活していきたいと思った。」「飯南町の現状がよく分かった。課題にばかり目が行きがちだが、飯南町には課題以上の魅力がたくさんあることを発見できた。」「聞いてくれる人の方を向いたり、声に抑揚をつけたりなど、工夫・改善したい部分が多く見付き、いい勉強になった。」「字の大きさや写真の位置など悩んだ。文章や構成など、ポスター作りがどれほど大変か知ることができた。他の班の発表はとても個性的で、こんな説明の仕方もあるのかと勉強になった。」などの感想が聞かれました。

たくさんの方にご協力いただき、貴重な体験をさせてもらいました。ありがとうございました。

<1回目> 9/8

SDGs de 地方創生公認ファシリテーター桐山尚子さんをお招きし、「SDGs」について学んだ後、カードゲーム「SDGs de 地方創生」に挑戦しました。これは、SDGs の考え方を地域の活性化に活かし、地方創生を実現する方法について参加者全員で対話し、考えるゲームです。グループごとに「一次産業従事者」「観光事業者」「行政職員」などの様々な立場の住人となり、ゲームを開始しました。



各グループが対話を繰り返し、たくさんの事業を展開したことで、グループ目標・全体目標をクリアし、「持続可能なまち」を実現することができました。生徒からは「視野が広がった」「目先の利益だけで意思決定するのは良くない」などの声が聞かれました。

答えのない課題に対して粘り強く考えようとする意欲を高め、行動変容のきっかけとすることができました。

献血でボランティア

10/5

9月6日の献血セミナーで告知された、赤来ライオンズクラブ後援の献血が来島保健センターで行われました。

年齢等の献血基準を満たし、献血意志を持った8名の生徒は、「献血セミナーを受け、献血することで助かる命があるのなら貢献したいと思った」と行動に移してくれました。「将来人を助け、守る職業に就きたいので、献血をすることで就職前でも力になれると思った」と、自分の目指す進路に繋げて考えている生徒もいました。また、単に「経験してみたかった」という生徒も。



<2回目> 9/21

1回目の内容を踏まえ、SDGsの視点をこれからのキャリアに活かそうと、自分の目指す進路に繋げて考え、一人ひとりが志望理由書を書きました。自分の周りの地域や世界との繋がりを意識することや、SDGsの項目にある理想の未来を叶えるには…という視点を持ち、視野を広げて自分の言葉で表現することを目指しました。グループメンバーからもアドバイスをもらい、進路実現に向けて自身の課題を見つめ直しました。

どちらの学習でも、グループ内、クラス内で対話を重ね、より良い解決策を見出す力や、進路実現に向けて協働する力が身についていると感じました。3年間共に過ごしてきた仲間だからこそできた対話もあったと思います。社会に出た時、年代、地域、立場等の違う多様な人とも、今回のように目標に向けて協働する感覚を大切にしていってほしいと思います。



受付後の検査で、残念ながら基準を満たさず献血できなかった生徒もいましたが、自分の意志で行動に移してくれたことは大事な一歩だと思います。様々な思いで献血ボランティアをしようと思った、その思いを大切に、今後も機会を作って続けていってほしいと思います。



島根県助産師会から3名の助産師の方にお越しいただき、前半は「生まれてきた自分の命」について考えました。妊婦の身体や心の変化、お腹の中の赤ちゃんの成長の様子、周りの人の支援の大切さ等をお聞きました。また、8キロの妊婦ジャケットをつけた妊婦体験をしたり、「親子ボランティア」として来ていただいた坪倉さんからお話を伺ったりしました。6か月のそうすけくんの表情やしぐさに、自然と笑みがこぼれる生徒たちでした。

後半は「未来へつなぐ命」について考えました。妊娠・出産は、責任を持って生み育てるという覚悟や生活力も必要だと分かり、正しい知識を身につけること、ライフプランを立て、自分の行動に責任を持ち、自ら判断し行動していくことが、これから新しい社会に出ていく3年生にとって大切なことだと学びました。

それと共に、一人ひとり違って当たり前という時代であり、多様性を受け入れ、お互いに理解することの大切さも改めて学びました。

生徒からは、「赤ちゃんが実際に来てくれたことで、大切な命ということをより感じる事ができた。自分が生まれたことは当たり前のことではないと感じ、感謝の気持ちを持って生活していきたい。」「自分の誕生日に親に“生んでくれてありがとう”と伝えているが、とても大切なことだと実感した。18歳になったので、自分の行動一つ一つにしっかりと責任を持ち、立派な大人になりたいと思った。」などの感想が聞かれました。

今の自分がいることは決して当たり前ではないことを感じると共に、今後の生き方について考える時間にもなりました。



赤来中学校・頓原中学校対象 飯南高校説明会 9/16

オープンハイスクール同様、司会進行、授業案内、学校案内、高校生との交流、部活動説明などを生徒主体で行いました。

参加した中学生の皆さんから、「習熟度別少人数指導の実際を見ることができ、自分に合ったペースで勉強できそうだった。」「高校生が生徒目線で感じていることを話してもらって参考になった。」「生徒と先生の距離が近く、生徒が楽しそうなを見て、明るい学校だと思った。」「部活動に真剣に取り組んでいる姿を見て、私もこんな風になりたいと思った。」などの感想をいただきました。



町内にある高校ですが、生徒の半数以上が町外・県外から入学しているので、人間関係の幅が広がります。様々な地域から集まっている生徒と共に、意欲的に生活している中学校の先輩も見てもらったのではないのでしょうか。

短い時間でしたが、実際に見てもらったことで、飯南高校の特徴が伝わっていたら嬉しいです。

今後の進路選択の参考にしてもらえたらと思います。

11/3(木) 祝 来島文化祭

飯南高校生も一緒に文化祭を盛り上げます!

吹奏楽部



飯南高校演奏 赤来中学校・飯南高校合同演奏

美術クラブ



作品展示

茶道同好会

お茶席



JRC部

献血推進ポスター掲示

ぜひお越しください!

テニス部

9/17-18

島根県高等学校新人テニス大会

【ダブルス】1ペア出場

朝生初咲・石飛有結ペア 2回戦進出

【シングルス】2名出場

朝生初咲 2回戦進出

湯浅萌未 2回戦進出



野球部

9/18

島根県高等学校秋季野球大会一次

【1回戦】飯南 12-5 明誠

9/23-25

島根県高等学校秋季野球大会二次

【1回戦】飯南 11-4 出雲北陵

【2回戦】飯南 1-5 益田

ベスト8



卓球部

9/9-11

島根県高等学校卓球選手権大会

【男子シングルス】4名出場

【女子シングルス】2名出場

【男子ダブルス】2ペア出場

【女子ダブルス】1ペア出場

生命地域ラボ

9/11

【美術クラブ】ブランドメッセージフェスティバル出店！

三日市で行われたフェスティバルで出店しました。海の背景を描いたものを用意し、来てくれた方に海の生物を描いてもらいながら、地域の方々との触れ合いを楽しみました。美術クラブメンバーからは、「小さい子どもの発想は予想以上に奇抜で、見ているこっちが色々なことを学んだ。」「初めて地域の人に美術クラブの存在を知ってもらえる良い機会になった。」「感染症対策をしながら、みんな工夫してサービスを提供していて、運営する人の気持ちがよく分かった。」等の声が聞かれました。できあがった作品は、来島交流センターに飾っていただいています。



スキー部

第68回島根県高等学校新人陸上競技大会

9/17

【女子2年1000m】

稲田 七星 予選出場

【女子走幅跳】

稲田 七星

5位

中国大会への
出場権を獲得!!

第31回中国高等学校新人陸上競技対校選手権大会

【女子走幅跳】

稲田 七星 予選出場

10/1



11月の主な行事予定



- 10月24日(月) 公開授業旬間(～11月4日)
- 11月 7日(月) 人権週間(～11日)
- 9日(水) 人権教育LHR
- 17日(木) 防災訓練
試験発表
- 18日(金) 飯南ジョブフェア(1・2年生)
- 24日(木) 期末試験(～29日)

*行事予定は今後変更になる可能性があります。